

小学生等を対象とした建設業に関する アンケート調査結果

(吉野川フェスティバル／建設機械試乗体験者へのアンケート調査)

平成 27 年 7 月
一般社団法人徳島県建設業協会

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

平成 27 年度吉野川フェスティバルにおいて建設機械試乗体験を実施し、その体験者（幼年者・小学生など）に対し、建設機械試乗の感想や建設機械を使う仕事への関心、さらには、その保護者に対し、建設業に対するイメージや子供が建設業に就職を希望した場合の意見などについてお聞きし、その結果を、今後の建設業のイメージアップや入職促進に寄与することを目的にアンケート調査を実施した。

(2) 調査の対象・日時

平成 27 年 7 月 25 日（土）の午前 10 時から午後 3 時にかけて実施した「吉野川フェスティバルにおける建設機械試乗体験」に参加した幼年者、小学生、中学生及びその保護者を対象にアンケート調査を実施。

(3) 調査方法

建設機械試乗体験を終えた方に対し、調査票を提示し記入していただくか、幼年者などに対しては、質問を読み上げて返答していただくなどの方法により実施。

(4) 有効回答

アンケート調査の有効回答数は 56。

(5) 調査内容

別添、調査票を参照。



2. 調査結果①（子供への調査結果）

（1）回答者（子供）の性別

回答者の性別は、「おとこ」が 37 人(66.1%)、「おんな」が 19 人(33.9%)である。

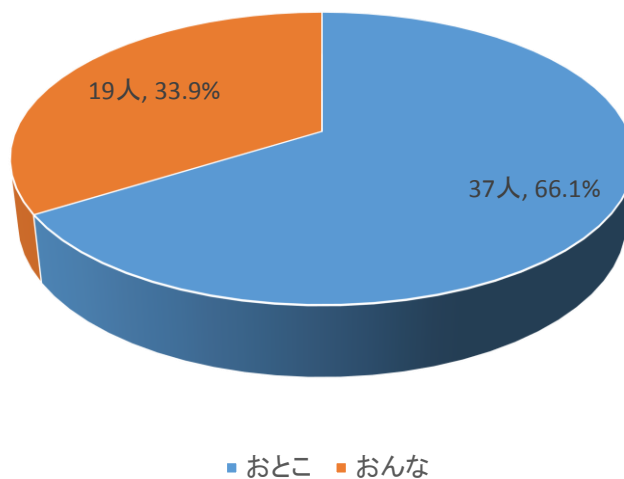


図-1 回答者の性別

（2）回答者の年齢

回答者の年齢については、「小学生以下(2才～6才)」が 26 人(46.4%)、「小学生(低学年)」が 20 人(35.7%)、「小学生(高学年)」が 9 人(16.1%)などである。

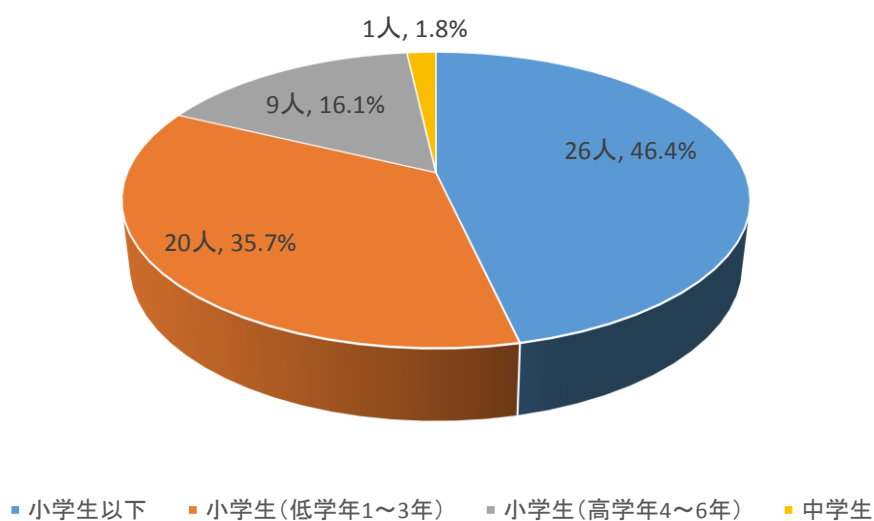


図-2 回答者の年齢

(3) 建設機械試乗体験の感想

建設機械試乗体験の感想については、「楽しかった」が 54 人(96.4%)で最も多く、次いで「ちがう機械もうごかしてみたい」が 30 人(53.6%)、「もっと運転したい」が 14 人(25.0%)などとなっている。

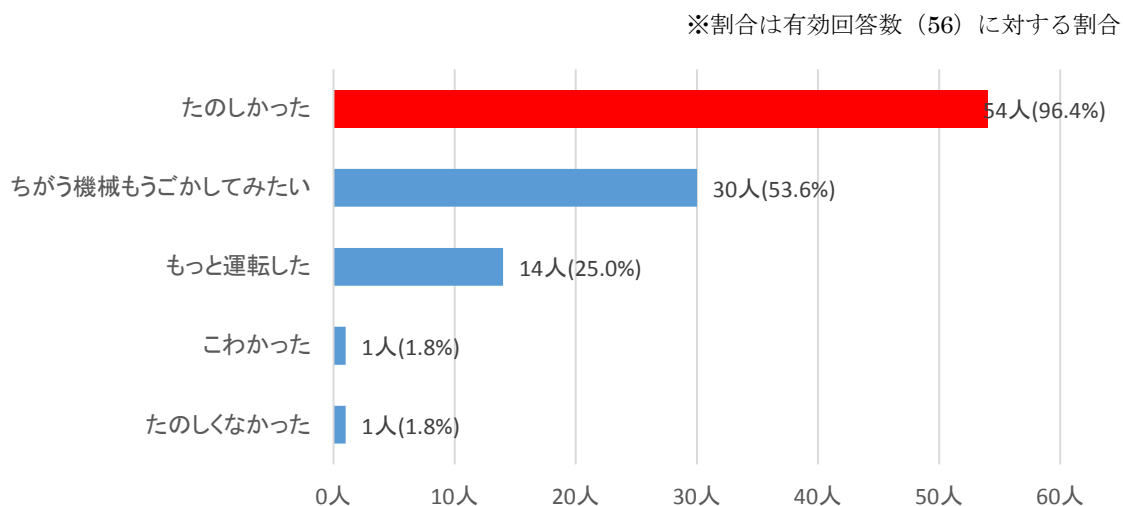


図-3 建設機械試乗体験の感想（複数回答）

(4) 建設機械を使う仕事をしてみたいかについて

将来、建設機械を使う仕事を「してみたい」との回答は 40 人(71.4%)となっている。

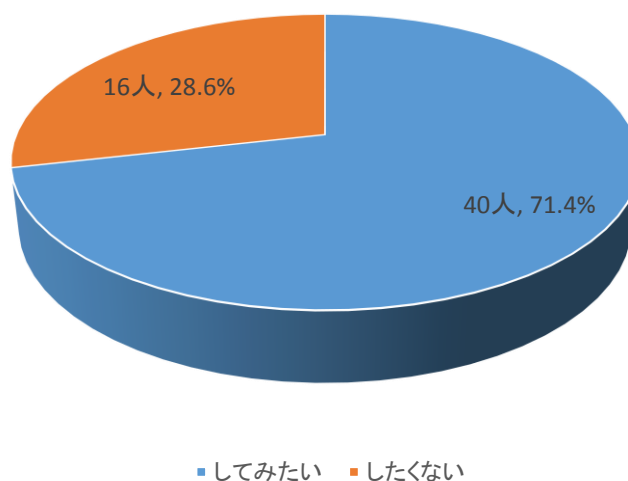


図-4 建設機械を使う仕事をしてみたいかどうか

次に、将来、建設機械を使う仕事をしてみたいかについて男女別にみると、建設機械を使う仕事をしてみたいとの回答は、「おとこ」は 29 人(78.4%)、「おんな」は 11 人(57.9%)である。

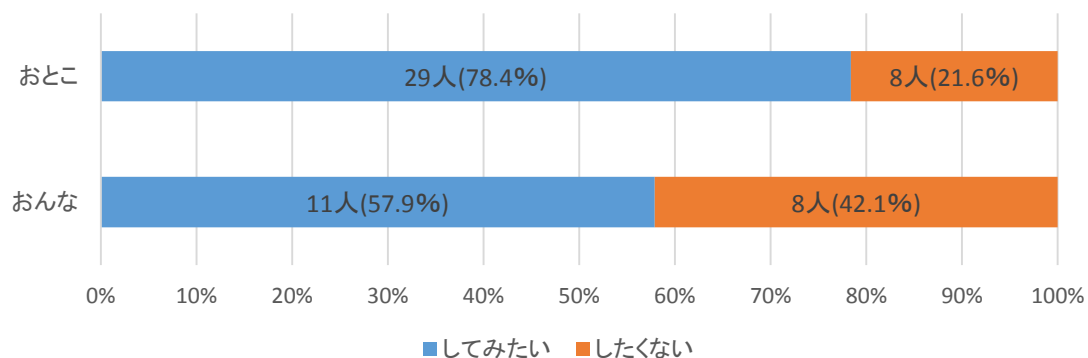


図-5 建設機械を使う仕事をしてみたいかどうか（性別）

将来、建設機械を使う仕事をしてみたいかについて年齢別にみると、建設機械を使う仕事をしてみたいとの回答は、「小学生以下」が 19 人(73.1%)、「小学生低学年」が 16 人(80.0%)、「小学生高学年」が 5 人(55.6%)となっている。

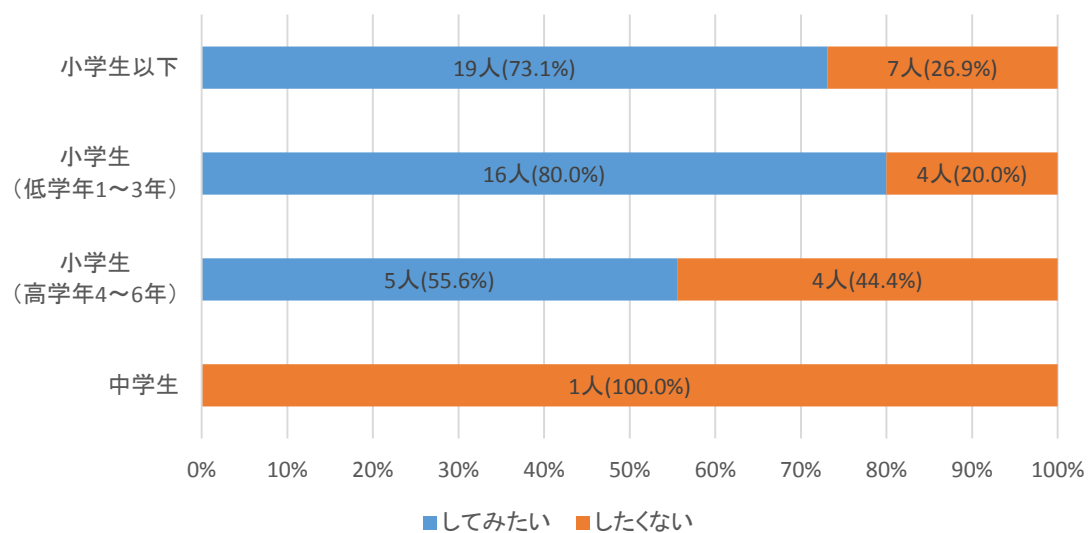


図-6 建設機械を使う仕事をしてみたいかどうか（年齢別）

(5) 大きくなったらつきたい職業

- 建設業(3人)、大工(2人)、一級建築士、トラックの運転手、トンネル点検車を動かす仕事
- お花屋さん、おもちゃ屋さん、ケーキ屋さん(3人)、パティシエ、料理人、カフェ
- 警察官(4人)、消防士、先生
- スポーツ選手(野球1人、サッカー3人、バスケットボール1人、水泳1人)
- 海洋生物学者、水族館の飼育員
- デザイナー、マッサージ師、電車の運転手、体操のお兄さん、芸人
- ヒーロー (〇〇ライダー、〇〇ジャーなど戦隊もののヒーロー)



3. 調査結果②（保護者への調査結果）

（1）建設業に対するイメージについて

建設機械試乗体験をした子供の保護者の方の建設業に対して持っているイメージについては、「良いイメージを持っている」が54人(96.4%)、「良くないイメージを持っている」が2人(3.6%)となっている。

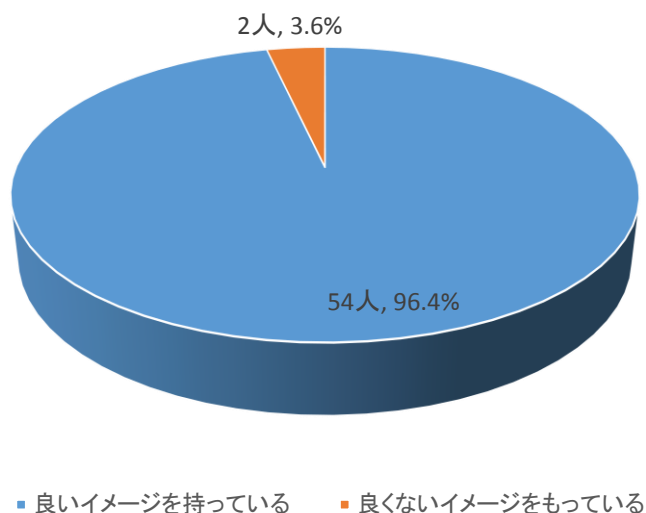


図-7 建設業に対するイメージ

（2）子供の建設業への就職について

子供が建設業への就職を希望した場合の対応については、「賛成する」が43人(76.8%)、「まだ何とも言えない」が13人(23.2%)とであり、「反対する」は皆無である。

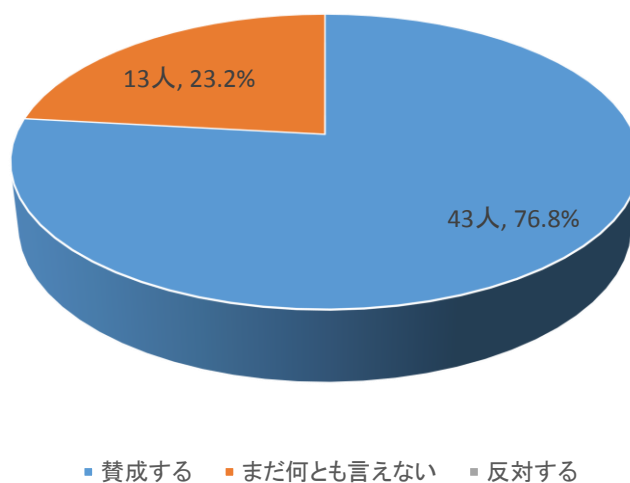


図-8 子供の建設業への就職について

(3) イベントによる建設業への理解の増進について

イベントで建設機械の試乗体験を実施することなどが、一般の方の建設業に対する理解の増進につながるかどうかについては、「つながると思うと」が49人(87.5%)、「わからない」が7人(12.5%)となっている。

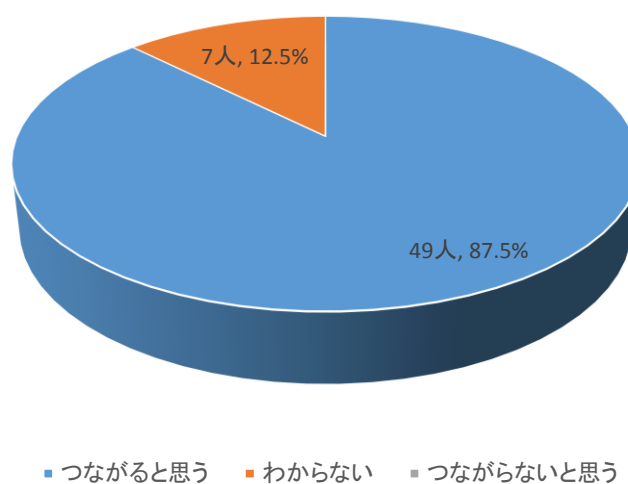


図-9 イベントによる建設業への理解の増進について